

伝統と現代が融合した
丹後の染師が生み出すちりめんスニーカー

平成21年度 採択事業

株式会社 高蔵

代表取締役

大下倉和彦さん



大下倉和彦さん

伝統的な素材に新たな命を吹き込む

江戸時代から約300年受け継がれてきた「丹後ちりめん」。そのすぐれた素材に、独自の技術とセンスで染色加工を施し、オンリーワンの高付加価値商品を提案する自社ブランド『高蔵染』^{たかくらぞめ}を立ち上げたのが、「株式会社 高蔵」の代表で、染師である大下倉和彦さんです。

大下倉さんの実家は、明治から続く丹後ちりめんの織元で、幼少の頃からちりめんの反物を見て育ちました。「当時から“着物以外にもいろいろ使えそう”と思って見ていましたね」と語る大下倉さん。約20年前、家業の織物だけでは需要が先細りになると考え、“染め”の世界に飛び込みました。その後、数々のトップブランドの染色技術をサポートして培ってきたノウハウをベースに、オリジナルブランド『高蔵染』を立ち上げます。一歩進んだ、新しいことをやりたいと考えたときに浮かんだのが、地元丹後の“ちりめん”。「幼い頃からずっと見ていて、染師としても関わってきたので、その魅力は誰よりもわかっていると思います。“すぐれた素材はその加工方法により、また新たな命を吹き込まれる”という言葉が信条に、僕なりの形で新たな命を吹き込みたいと思ったんです」と大下倉さん。そして、平成20（2008）年、『高蔵染』が誕生しました。



手作業で一点一点染め上げる高蔵染め

高蔵オリジナルのテキスタイル使用

『高蔵染』のデビュー第1作に選んだテーマは“スニーカー”。「最初の一步だから足元にこだわった」と笑う大下倉さん。地に足をつけ、時代に流されることなく、一歩ずつ踏みしめていくという思いがこめられています。

使われるのは、「生機ちりめん」^{きぼた}、「ささ和紙ちりめん」という同ブランドのオリジナルテキスタイル。「生機」とは織ったままの生地のこと、さらびやかな中に少し無骨なごわごわ感も。「ささ和紙」のほうは和紙とくま笹、ちりめを融合させた、さらっと上品な質感です。2つの新しい

伝統製品の活用

原料を使って、自社内で染色加工し、靴製造メーカーでコンバースリメイクの「ちりめんスニーカー」に仕上げます。一般にオリジナルスニーカーの製造はテキスタイルの供給のみですが、同ブランドの強みは製品染めを併用できる点。「はけムラ染め」「にじみ染め」「しぶき染め」など独自性あふれる染色法で、丹後の自然美を感じさせる色や柄がアーティスティックに染められます。金糸使いのものは独特の光沢と質感で品のよい高級感が感じられます。独自の染め色や斬新なテクニックによって生み出される製品はすべて一点もの。ファッションに敏感な本物志向の人たち支持され、今や同ブランドの看板商品に成長しました。



オンリーワンの魅力・ちりめんスニーカー

22（2010）年度は「チリメン足袋」で採択

地域の伝統産品を原料に用いて行う事業をファンドが支援していると知り、平成21（2009）年度、22（2010）年度、2年連続で採択されました。助成金は主に設備環境の拡充に。「生機」は従来の染色法では染めるのが難しく、特殊な染め方をしますが、助成金により最低限必要な設備を整えることができました。また原材料の仕入れ、イベントの企画・運営費など、事業を推進するのに必要な費用にバランスよく充てました。

平成22（2010）年度は、部屋履きデザインの地下足袋「チリメン足袋」を製造・販売する事業で採択を受けています。

「ちりめんスニーカー」、「チリメン足袋」を広めるにあたり、製品の完成度を一層高めると同時に、いかに多くの人々に知っていただくのが大きな課題です。平成22（2010）年は宣伝プロモーションとして、百貨店やショップでのイベント、展示会、ラジオ番組出演など、ブランド知名度アップのための活動を行いました。なかでも高槻松坂屋では、平成22（2010）年3月に行ったイベントが好評だったため、急ぎ翌月にも追加イベントを行うことに。店頭で製作者が自ら製造方法などを説明することで、高価格

商品であっても魅力があれば購買につながることを実感したといいます。今後も継続して販促活動を行い、「モノづくりの話や付加価値などを消費者にしっかりと伝えて本物志向の顧客を開拓していきたい」と言います。



Tシャツ、帽子、フアブリックアイテムも展開

高蔵染ブランドの逆輸入も視野に

現在取扱い商品は、ちりめんスニーカーやチリメン足袋のほか、Tシャツ、ストール、帽子、アート作品など多岐にわたり、それらは店舗としては京都市内の「あじき路地」、定期的に行われる「club METRO」での音楽イベント、またアート作品と商品との融合を図った個展形式の展示会をギャラリーで行うなど、こだわりのある商品をより引き立たせるための一味違った独自の販促活動を積極的に展開しています。

さらに、スニーカーの製造を広島の「株式会社スピングルカンパニー」に依頼することによって、国内では唯一のバルガナイズ製法の「巻きソール」が特徴の、完全MADE IN JAPANにこだわった「チリメンスニーカー」が完成しました。

海外取引に向けて、ホームページの充実、強化を図ることが当面の課題だといいます。ブランドの逆輸入戦略も視野に入れており、「高蔵染」ブランドの今後に目が離せません。

事業概要

株式会社 高蔵

<http://www.takakura-zome.jp/>

代表：大下倉和彦

業種：スニーカー、バッグなど服飾雑貨の製造販売業

創業：平成20（2008）年 設立：平成20（2008）年

住所：〒627-0131

京丹後市弥栄町和田野 314

TEL：0772-65-0065 FAX：0772-65-0066